



淀川区まちづくりセンターのスタッフが地域を訪問し、興味を持ったスポットや取り組みを紹介するシリーズ。第17回目は、木川地域です。



①野中の巳さん(立森瑞神)

立森瑞神は木川西4丁目にある小さな神社で、地域では「野中の巳さん」と呼ばれ、親しまれています。大正時代に数人の村人が、夢で大きな蛇に「私を祀ってくれば水不足にならないようにしてあげる」と言われ、お祀りしたのが始まりです。商売繁盛にご利益がある巳さんや、境内に祀られている3体の狸「オタク・八郎・長吉大明神」には安産や病氣平癒のご利益があるとして、多くの方が訪れるそうです。

②網干総合車両所宮原支所(旧宮原操車場)

昭和8年に宮原操車場として始まった網干総合車両所宮原支所。残念ながら一般の方は入れませんが、トワイライトエクスプレス瑞風など様々な車両が並び、時折子ども達がフェンス越しに目を輝かせています。鉄道の歴史を感じるものも。とりわけ目立つ灰色の塔は高架貯水槽といい、車両を手洗いしていた頃は水圧をかけ噴出する水で、強固な汚れを落としたり、蒸気機関車への給水もしていたそうです。塔の近くには蒸気機関車を進行方向へ回転するのに使われていた緑色の転車台があり、今は役目を終え静かに佇んでいます。古の鉄道風景に思いを馳せる事ができる場所です。



松本清張ドラマ「点と線」のために、昭和30年代の東京駅を再現したセットが、2か月かけて設置された事も!



③海月文庫

木川小学校の東側、路地を少し入ったところに「海月文庫」があります。1986年に古本屋として創業。現在古本はネットやイベントを中心に売買されています。店舗は2000年に始められたアトスペースが主になっており、作品展の開催期間のみ開いています。作品展開催時には、舞台美術を手掛ける方によって造られた独特の世界感を放つ空間に、店主とご縁のあった作家の作品が心地よく並びます。地域の方ももちろん、遠方からも美術や古書の好きな方が訪れ、作品を展示している作家を中心に話に花が咲く事も。アートを通じて多くの方がつながる空間です。



作品展の予定はホームページやお店の前にあるチラシなどで確認できます。

淀川区まちづくりセンター Facebook 淀川区まちセン FB 検索 地域情報発信中!!

やまちゃんの「ごころ」

淀川区長 山本 正広



夏と言えば・・・お祭り!

タイトル通り、夏はお祭りが目白押しでした。消防署長さんと一緒に全18地域の夏祭りに参加させていただきましたが、祭りの雰囲気や運営のし方も、それぞれ地域によって特色があり、とても楽しかったです。温かく迎えていただいた各地域の皆さま、お世話になりました。そうそう、淀川の夏と言うと8月5日(土)のなにわ淀川花火大会は外せません。当日の迫力満点の花火にも感じましたが、翌日もっと感じました。淀川花火大会では「持ち帰り」を方針にしても、観客の方々がごみを途中の道路や庭先等に放置すると迷惑がかかるので、原則として会場内で捨ててもらっています。そして翌日早朝から、清掃会社だけでなく、地元の学校や企業、各種団体等々から

なるボランティア隊が清掃するのです。淀川区役所もわざわざかばかりですがお手伝いさせていただきました。この方式をとって、既に10年ほどになっているそうです。しっかり根付いていますね。ただ観客の皆さんも散乱させずに決められたごみ捨て場に捨てるよう、もうちょっとマナーを守ってもらいたいなと思いました。さて今月は16日(土)、いよいよ第42回淀川区民まつりです。皆さんも会場にぜひおいでください。



▲多くのボランティア隊による清掃で、いつものきれいな河川敷に!

